

参議院議員選 2019

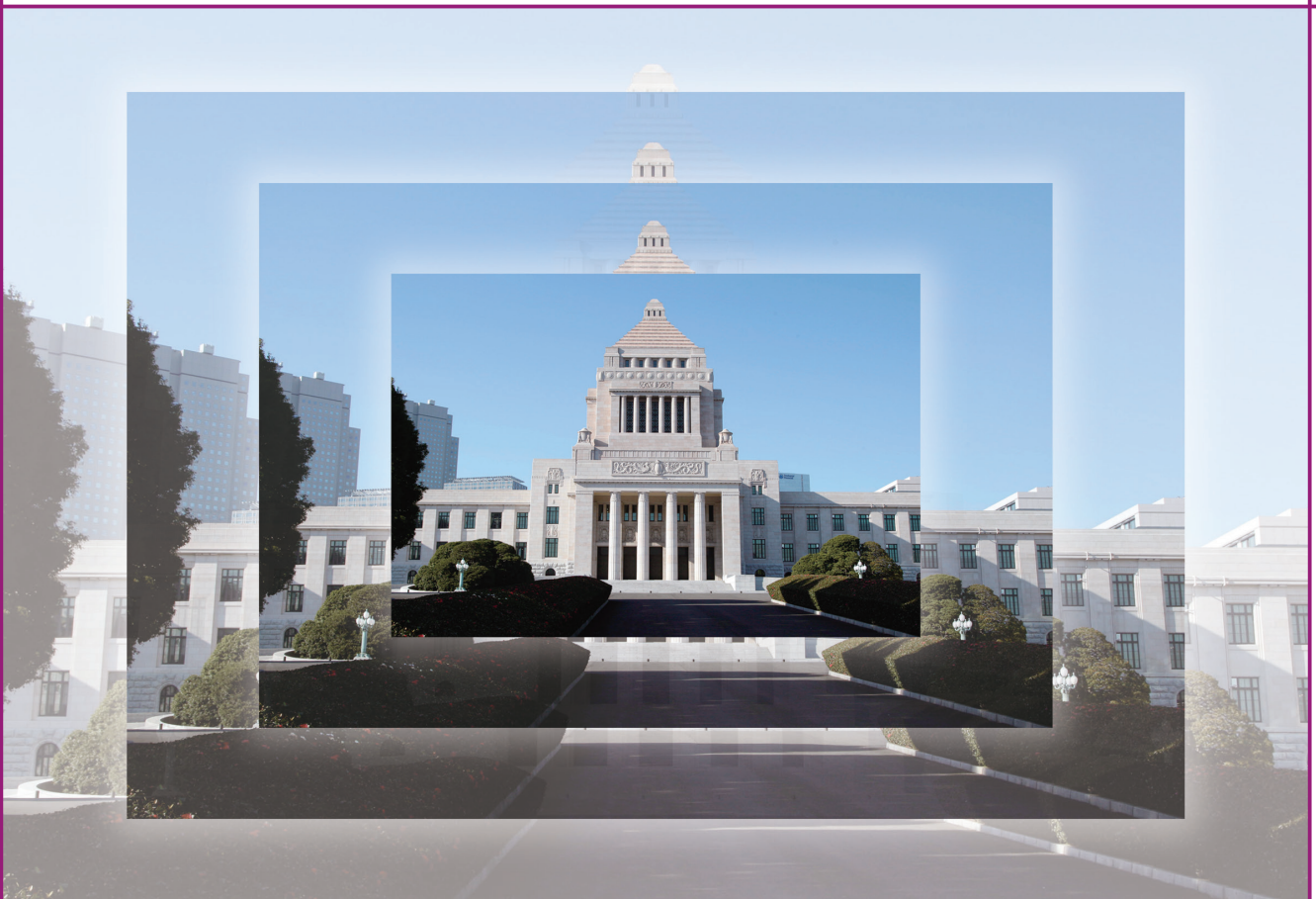
選挙広告
の おすすめ
新聞 産経

政治に関心の高い読者の声が、
多数の票につながります！

産経読者の前回国政選挙(衆院選)での

投票率 **84.2%**

平成 29 年 J-MONITOR 共同調査より



オピニオン・リーダーが読む
産経新聞

政治に関心の高い 読者の声が、多数の票に つながります！

はじめに

平成29年10月の衆議院議員選挙の際、産経新聞の読者は実にその84.2%が投票したという調査結果が得られました（平成29年J-MONITOR共同調査／調査実施・ビデオリサーチ）。また、前回の参議院議員選挙でも85.0%（平成28年J-MONITOR共同調査／調査実施・ビデオリサーチ）と高い投票率を得ており、産経新聞読者の政治に関する高い意識があらわれています。調査からは常に「政治問題に関心があり」「政治に関する話を周囲の人とよくすることがある」「社説・論説」を深く読み、日本の将来を真摯に考える読者像が浮かびあがってきます。

産経読者の選挙に関する情報源は圧倒的に「新聞報道」であり、政党や候補者の「新聞広告」にも多くの読者が注目し、参考にしていきます。

今夏の参議院議員選挙に向け、産経新聞は広い視野での確かな情報分析を行い、分かりやすい解説を交えた公正な選挙報道を心がけてまいります。責任あるメディアとして「主張」と「提言」を続けてきた産経新聞は、こうした報道姿勢が多く読者から高い支持を得ています。

また、平成27年6月に改正公職選挙法が成立し、選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられました。選挙権年齢の引き下げは、昭和20年の終戦直後に「25歳以上」から現行の「20歳以上」となって以来、70年ぶりとなりました。産経新聞は若者の声や各政党の若年層向けの取り組みなど充実した内容を紙面に反映させています。

選挙広告においても、ぜひ産経新聞をご活用いただきますよう、宜しくお願いたします。

INDEX

産経新聞読者は、あなたの政策提言をまっています。 3

①産経新聞の販売部数／②産経新聞の購読者分布図

選挙への参加意識の高い、産経新聞読者 4

①産経読者の国政選挙投票率／②産経読者の日頃の投票行動／③産経読者の「選挙の情報源」／
Topic 「産経ニュース」の選挙特設ページ

産経新聞読者は、日頃から政治への関心が高く、新聞記事を信頼しています。 6

①閲読記事ジャンル／②新聞閲読態度(社会への関心)／③紙面評価／④新聞閲読態度(政治への関心)

参議院議員通常選挙の広告掲載上の注意 8

選挙広告料金表・掲載バリエーション(比例代表区広告) 10

産経新聞読者は、あなたの政策提言をまっています。

1

産経新聞の販売部数

■ 産経新聞の主張・オピニオンや記事内容を支持する世帯は、安定しています。

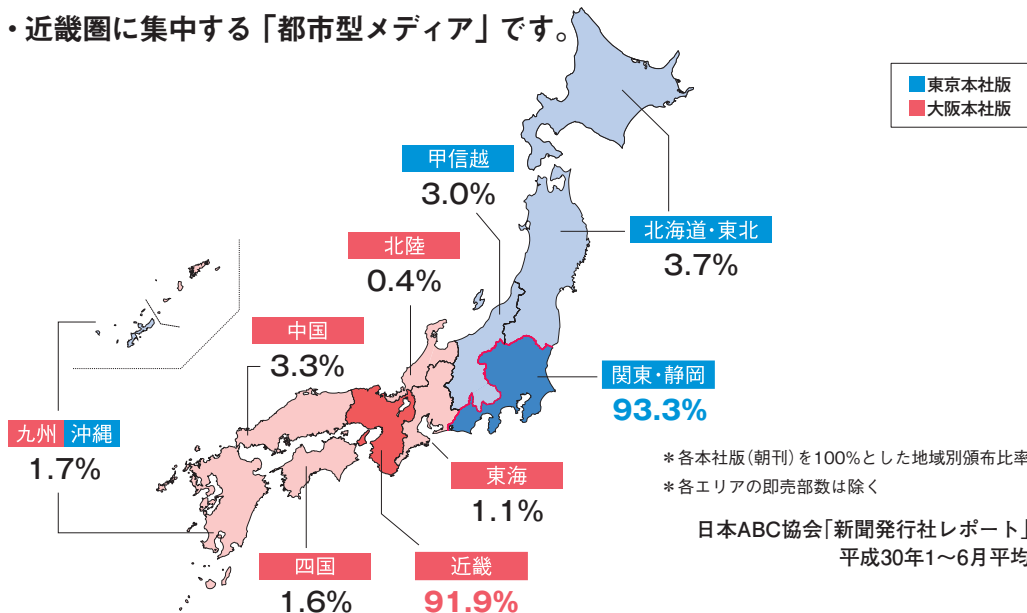
	朝刊	夕刊
全国計	1,502,020部	382,805部
東京本社版	630,357部	—
大阪本社版	871,663部	382,805部

日本ABC協会「新聞発行人レポート」平成30年1～6月平均

2

産経新聞の購読者分布図

■ 首都圏・近畿圏に集中する「都市型メディア」です。



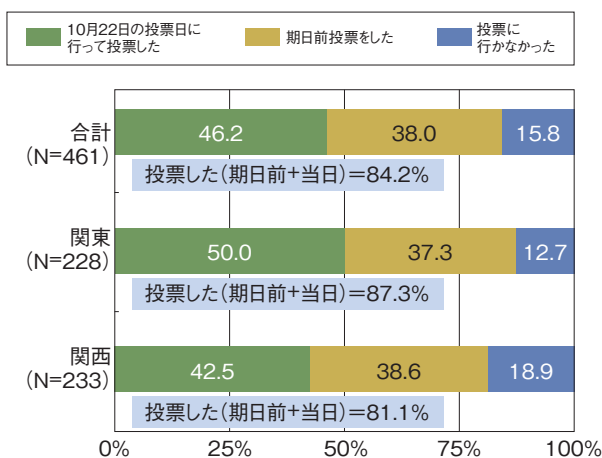
選挙への参加意識の高い、産経新聞読者

◎国政選挙の投票に関する産経新聞・購読者調査より

1 産経読者の国政選挙投票率

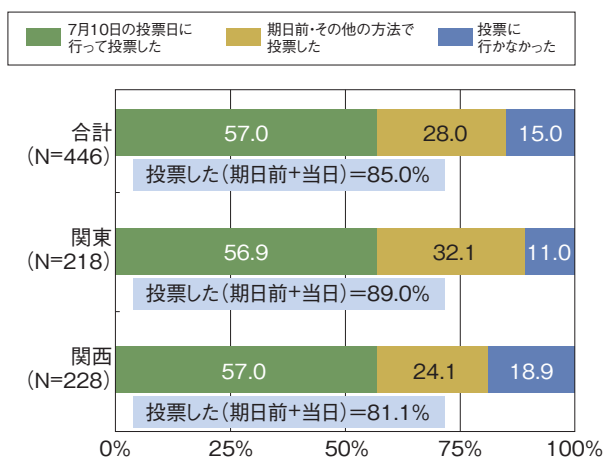
■ 前回の衆院選で投票した読者が全体の
84.2%

平成29年10月22日衆院選の投票行動



■ 前回の参院選で投票した読者が全体の
85.0%

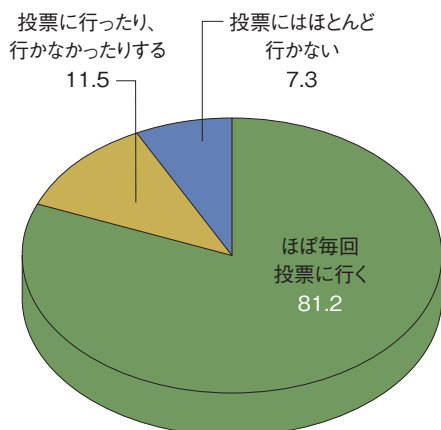
平成28年7月10日参院選の投票行動



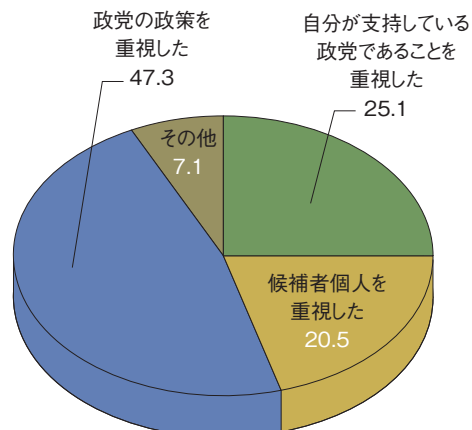
2 産経読者の日頃の投票行動

国政選挙において、選挙ごとに「ほぼ毎回投票に行く」という読者が多数派で約80%を占めました。「投票に行ったり、行かなかったりする」という読者が約12%。調査結果から選挙投票について熱心な読者が多いことがわかります。

■ 日頃の投票状況(国政選挙) (N=410)



■ 投票時の最重視点 (N=351)



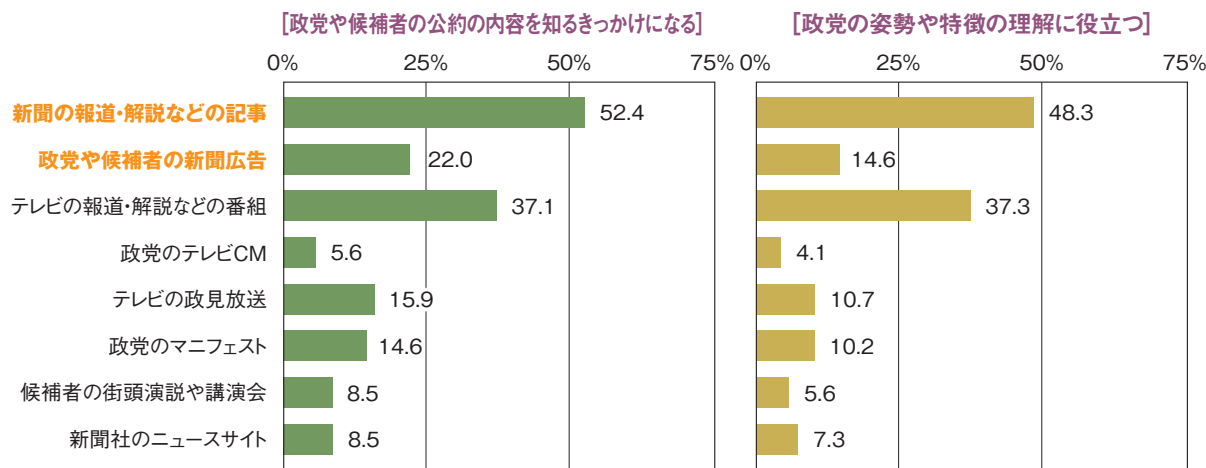
●選挙に関する情報源は「新聞」から

3 産経読者の「選挙の情報源」

選挙に関する情報源の利用について聞いた設問では、「新聞の報道・解説などの記事」が最も高いスコアでした。次いで「テレビの報道・解説などの番組」。

その次に「政党や候補者の新聞広告」が続き、「政党のテレビCM」や「テレビの政見放送」に比べて高いスコアを示しています。

■ 選挙に関する情報源(N=410) ※一部の項目を抜粋



1 左のグラフ「平成29年10月22日 J-MONITOR共同調査」より

- 調査実施機関：ビデオリサーチ
- 調査期間：平成29年10月23日（月）0時～24時
- 調査エリア：首都圏・近畿圏
- 有効回答：461サンプル（男女20～69歳産経新聞購読者）
- 調査方法：パソコンを利用したウェブ調査

右のグラフ「平成28年 7月10日 J-MONITOR共同調査」より

- 調査実施機関：ビデオリサーチ
- 調査期間：平成28年 7月11日（月）0時～24時
- 調査エリア：首都圏・近畿圏
- 有効回答：446サンプル（男女20～69歳産経新聞購読者）
- 調査方法：パソコンを利用したウェブ調査

2 3のグラフ「平成26年12月14日 J-MONITOR共同調査」より

- 調査実施機関：ビデオリサーチ
- 調査期間：平成26年12月15日（月）0時～24時
- 調査エリア：首都圏・近畿圏
- 有効回答：410サンプル（男女20～69歳産経新聞購読者）
- 調査方法：パソコンを利用したウェブ調査

WEB 「産経ニュース」の選挙特設ページ

正確性、速報性、網羅性の三位一体による「ウェブ・パーフェクト」を掲げる産経ニュースは、他では読めないオリジナル記事やポータルサイト、アグリゲーターが制作できないコンテンツを、いち早く公開するユーザーファーストを重視した媒体です。

今回の参院選でも、産経ニュース上で特設ページを設置し、各候補者や政党の動きを逐一速報。詳しい分析、解説を展開しています。



※デザイン・要素はイメージです。

産経新聞読者は、日頃から政治への関心が高く、新聞記事を信頼しています。

◎産経新聞の読者プロフィール

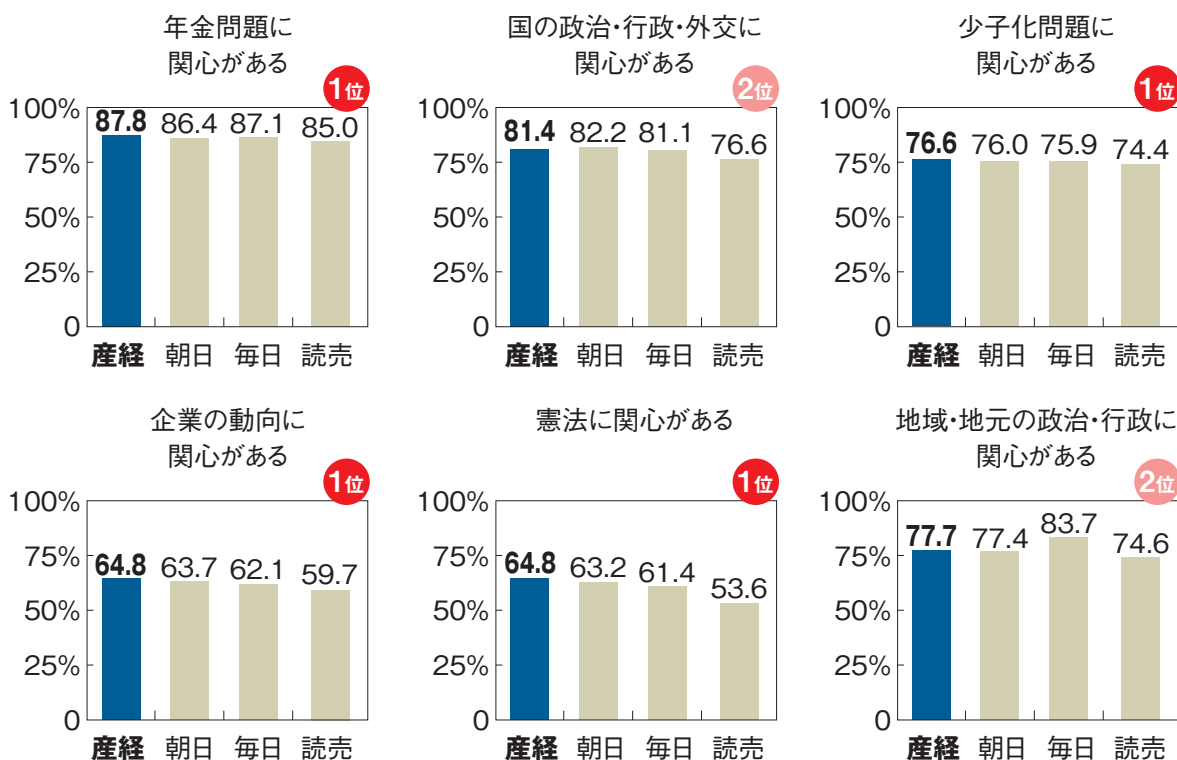
産経新聞の読者は、日ごろから新聞との接触時間が長く、「政治」「国際」「経済」「社説・論説」を深く読みます。政治への関心も高い読者は、「論調や考えに共感できる」「記事内容が面白い」「他にはない記事がのっている」点を高く評価しています。

1 閲読記事ジャンル 産経読者は「政治」「社説」を深く読む読者です。

	政治	国際記事 (ニュース)	経済	株式・商況	社説・論説	スポーツ	家庭生活	社会・事件	地域・地元 その他のニュース	死亡記事欄	テレビ欄	ラジオ欄	気象情報	その他の記事
産経新聞	65.7 ^{1位}	53.1 ^{1位}	43.2 ^{1位}	12.4 ^{1位}	34.5 ^{1位}	48.5	36.1	67.5	41.8	12.3	63.3	7.9	29.3	25.5
朝日新聞	61.0	49.2	37.6	11.4	33.9	50.9	45.9	70.7	49.1	12.3	71.4	6.5	31.8	30.6
毎日新聞	62.5	50.3	38.9	10.5	28.6	53.5	41.9	70.0	51.7	16.8	66.7	8.7	37.9	30.7
読売新聞	56.9	45.7	35.7	12.4	25.9	52.5	45.9	65.8	52.5	16.3	72.1	6.3	32.1	27.0

(%)

2 新聞閲読態度 社会への関心



3

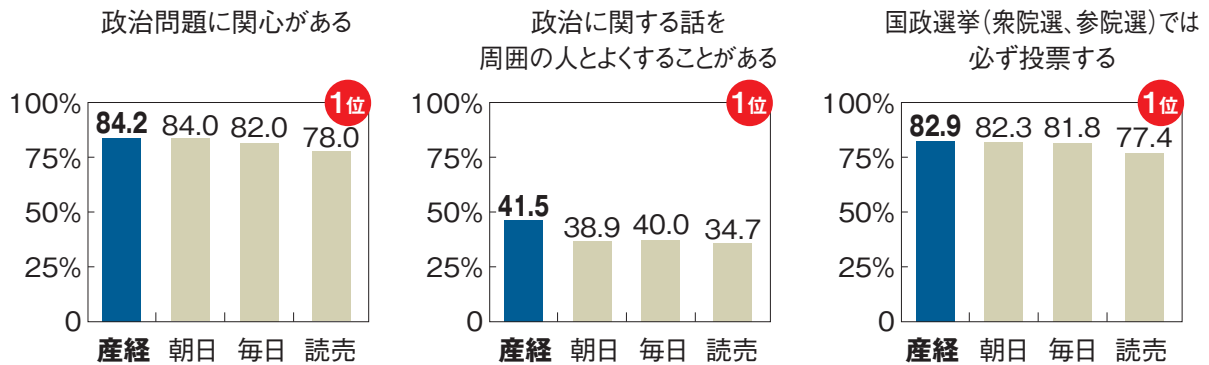
紙面評価

★ 1位 ★ 2位	産経新聞	朝日新聞	毎日新聞	読売新聞
★ 記事が信頼できる	31.1	27.1	22.7	26.0
紙面が読みやすい	48.0	51.3	55.6	63.0
記事内容がわかりやすい	31.7	26.7	32.3	34.7
★ 論調や考え方に共感できる	38.5	18.7	16.2	12.9
★ 記事内容が面白い	20.8	13.9	16.9	14.1
最新の記事がのっている	11.3	17.7	13.8	17.5
★ 知りたい記事が詳しい	10.1	10.1	10.1	9.5
★ 他にはない記事がのっている	13.1	4.4	3.8	3.2
地元の記事が詳しい	5.8	4.9	8.0	9.0
全国の記事が詳しい	3.4	9.8	7.0	8.0
★ 海外の記事が詳しい	3.9	4.0	2.9	2.4
生活に役立つ	17.7	28.4	25.5	28.0
イベント・催し物に熱心	3.2	4.3	3.8	5.5
社会に貢献している	4.2	4.7	4.9	3.5
★ 新しい問題を多く投げかけている	15.4	15.2	8.1	2.6

(%)

4

新聞読読態度 政治への関心



P6～7の資料 「平成28年(第16回)全国新聞総合調査(J-READ)」より

- 調査実施機関：ビデオリサーチ
- 調査期間：平成28年10月16日(日)～10月22日(土)
- 調査エリア：関東1都6県・関西2府3県の調査結果より
- 調査方法：調査協力の応諾が得られた対象者に対し、自記入式調査票を郵送。記入期間終了後、郵送にて調査票を返送してもらう

参議院議員通常選挙の広告掲載上の注意

〈選挙広告の種類〉

◎候補者広告(公職選挙法第149条第4項)＝選挙区選挙

- (1)選挙区選挙の立候補者が、選挙運動の期間中、選挙に関して掲載する広告
- (2)スペースは1回9.4cm×2段(2段4分の1)以内
- (3)回数は5回(合同選挙区は10回)
- (4)広告料金は国庫負担
- (5)必要書類＝「新聞広告掲載証明書」「新聞広告掲載承諾通知書」

◎名簿届出政党等広告(公職選挙法第149条第3項)＝比例代表選挙

- (1)参議院名簿を選挙長に届け出た政党その他の政治団体が、選挙運動の期間中、選挙に関して掲載する広告
- (2)スペースは1回おおむね9.4cm×1段の整数倍(最小2段4分の1または1段2分の1から最大15段。なお、面を変えれば同日付で16段以上掲載しても差し支えありません)で、長方形です。また、名簿登載者数により、総段数、総回数に以下のような制限があります(記事下に限る、カラー不可)

登載者数	総段数	総回数
1～8人	20段	40回以内
9～16人	28段	56回以内
17～24人	36段	72回以内
25人以上	44段	88回以内

- (3)広告料金は国庫負担。ただし、開票の結果、得票総数が有効投票総数の100分の1に達しない場合は、名簿届出政党等の負担になります
- (4)必要書類＝「新聞広告掲載証明書」(スペース1段4分の1ごとに1枚)

◎政党広告

- (1)政党その他の政治団体が、政策の普及宣伝のために掲載する広告。ただし、通常選挙の選挙運動の期間中に「政談演説会」「街頭政談演説」ができるのは、確認団体だけです。これらの告知広告は、確認団体が広告主になったものしか掲載できません
- (2)スペースは自由(カラー可)
- (3)回数は自由
- (4)広告料金は政党その他の政治団体負担
- (5)必要書類＝「政談演説会」「街頭政談演説」の告知をする場合は、公職選挙法第201条の6第1項ただし書きの規定による「政治団体確認書の写し」
- (6)次のものは掲載できません
・政党広告で、「清き一票は〇〇党へ」など、選挙運動にわたる表現のあるもの

〈表現上の注意〉

1. 候補者広告で、他の立候補者が推薦者として表示されたものは、推薦者が自分のためにする選挙運動の目的がなく、①推薦者の氏名のみ表示、②推薦者中、立候補者は1名だけ表示、③文字の大きさは当該候補者より小さいものを使用—など社会通念上妥当と思われれば許されます
2. 各広告とも、広告中に推薦者(団体)名の表示がある場合は、推薦者(団体)の確認書を提出してください
3. 「氏」のみの選挙広告は、当該候補者の選挙広告であることが確認できない場合を除き、許されます
4. 戸籍名で立候補した場合で、戸籍名を小さく表示し、その横に大きく振り仮名を付した選挙広告は許されます

5. 次のものは掲載できません

- (1)名簿届出政党等広告で、選挙区選挙の選挙運動にわたる表現のあるもの
- (2)他の特定候補者を推薦、支持するような表現のあるもの
- (3)自己の政策などの主張がなく、単に他を非難、攻撃、排撃、中傷、誹謗、揶揄する表現のもの
- (4)他者に対して一方的な呼び掛けをし、回答を要求する表現のもの
- (5)特定の立候補者名を挙げて、その者の当選を得させないことを目的とする表現のもの
- (6)選挙の自由、公正及び公平を害するおそれのあるもの
- (7)事実に基づかない表現のもの
- (8)選挙広告の目的を逸脱する表現のもの
- (9)その他、公職選挙法等に違反するおそれのあるもの
- (10)「産経新聞広告掲載基準」に触れると、本社が判断したもの

〈掲載方法〉

1. 掲載時期は、立候補届出後書類等の搬入が間に合う版から選挙の当日の前日配布の版までです
2. 入稿に当たっては、必ず「新聞広告掲載証明書」の原本を元に、候補者の氏名や政党等の名称が一致しているか点検してください。漢字名の一部を仮名書きにした場合なども同一とは見なされません。ただし、「通称使用認定書」の提出がある場合は、その通称を表示することができます
3. 全体を細野線以上の太さの野線で巻いてください
4. 同一候補者の広告で、それぞれが独立していれば同一日付の同一新聞に複数掲載できます。ただし、複数倍のスペースではできません
5. 選挙広告を2以上併載する場合は、それぞれ独立した体裁・表現にしてください

〈掲載手続き〉

1. すべての選挙広告は事前審査とします
2. 東京本社版、大阪本社版ともメディア営業局編成部に正式に掲載の申し込みがされるまでの問い合わせ先は、表現内容、必要書類の提出については広告審査担当、その他の点については当該営業部にお願いします
3. 掲載に当たっては必要書類(原本に限り、ファクス送信などのものは認めません)を掲載日の前々日(土・日曜日、祝・休日は日数計算に入れません)までに提出してください。提出のない場合は掲載できません。なお、公示日の翌日掲載の場合は、事前に広告審査担当者に申し出てください
4. 入稿締切日は、掲載日の前々日(土・日曜日、祝・休日は日数計算に入れません)までです。なお、カラー印刷の場合は、別途本社規定によります
5. 入稿形態はデジタル入稿(CDなど)とします。その他の入稿形態の場合は、事前に問い合わせてください

〈掲載期間〉

◎候補者広告及び名簿届出政党等広告

公示後、立候補届出日から投票日前日まで

◎政党広告

掲載期間の制約なし(投票日の掲載も可)

選挙広告料金表

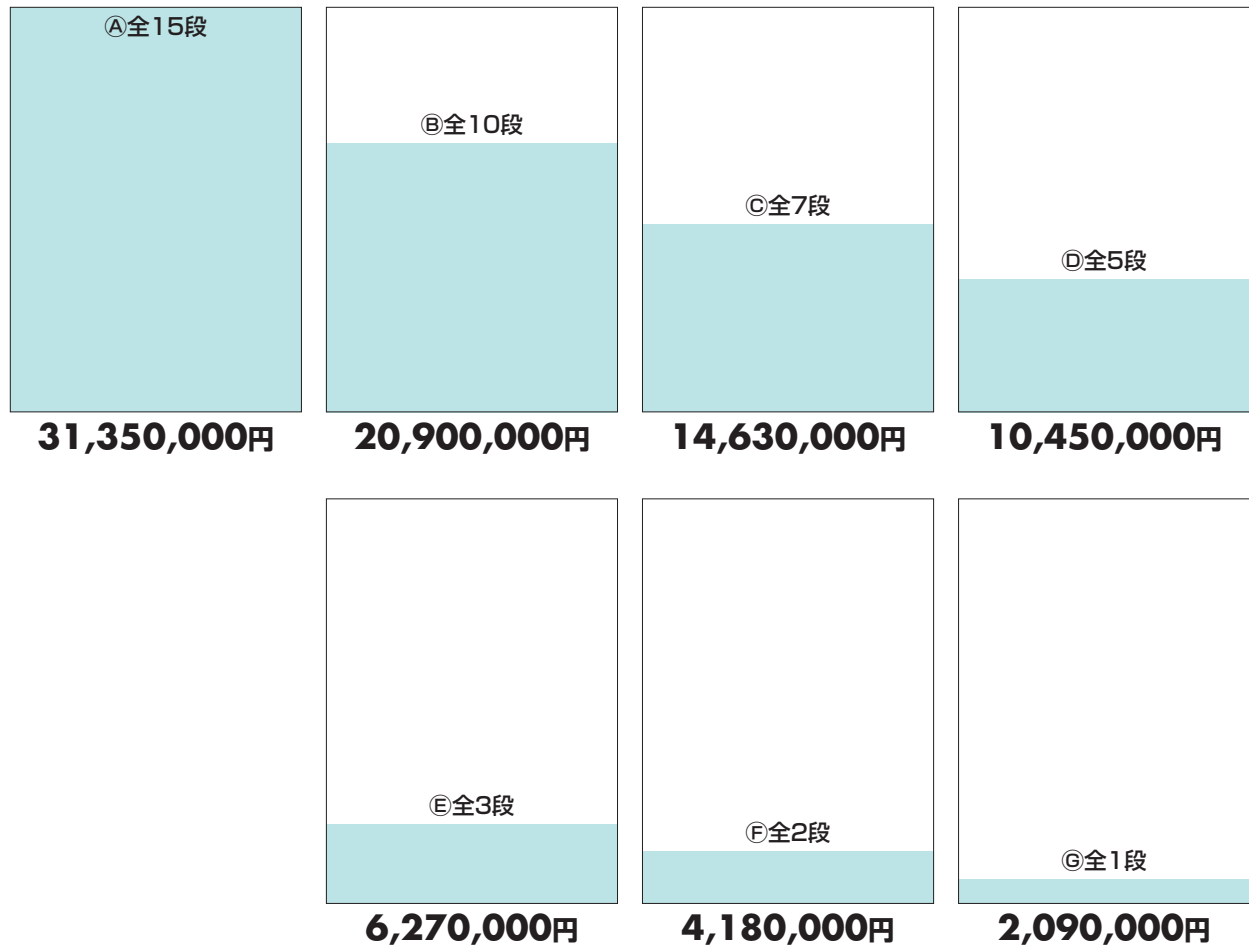
1. 比例代表区広告(1cm×1段) 55,000円

2. 候補者広告(9.4cm×2段)

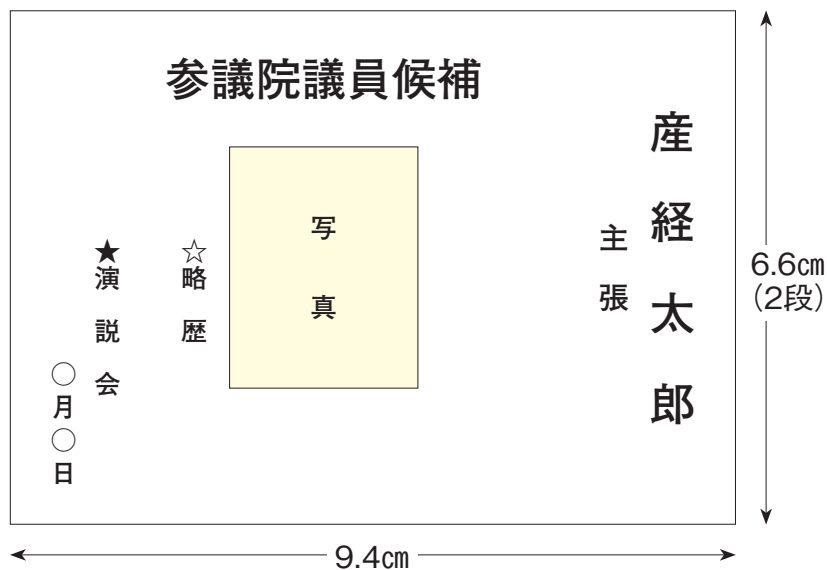
版 別	記事下基本料金 (1cm×1段)	1回の掲載料金 (9.4cm×2段)	版 別	記事下基本料金 (1cm×1段)	1回の掲載料金 (9.4cm×2段)
青 森	1,000円	18,800円	富山・石川	1,500円	28,200円
岩 手	1,000円	18,800円	福 井	1,500円	28,200円
宮 城	1,400円	26,320円	岐阜・愛知	1,700円	31,960円
秋 田	1,000円	18,800円	三 重	1,600円	30,080円
山 形	1,100円	20,680円	滋 賀	2,600円	48,880円
福 島	1,500円	28,200円	京 都	3,300円	62,040円
新 潟	1,800円	33,840円	大 阪	25,600円	481,280円
長 野	1,400円	26,320円	兵 庫	11,000円	206,800円
山 梨	1,500円	28,200円	奈 良	3,800円	71,440円
静 岡	2,200円	41,360円	和 歌 山	3,000円	56,400円
群 馬	2,400円	45,120円	鳥取・島根	3,100円	58,280円
茨 城	2,600円	48,880円	岡 山	2,600円	48,880円
栃 木	2,400円	45,120円	広 島	4,700円	88,360円
埼 玉	4,000円	75,200円	徳島・高知	2,400円	45,120円
千 葉	4,400円	82,720円	香 川	2,200円	41,360円
東 京	27,900円 (セット版)	524,520円	愛 媛	2,100円	39,480円
神 奈 川	5,400円	101,520円	山口・九州	1,600円	30,080円

※税込広告料金は総務省の考え方に準じ、《基本料金(1cm×1段)×9.4cm×消費税1.08》の金額を基にして広告スペースの税込料金を計算します。

掲載バリエーション〈比例代表区広告〉



※料金(税別)はいずれも全国版朝刊です。



〈候補者広告〉

2段4分の1 (9.4cm×6.6cm)

料金は各版によって異なります。



産経新聞社メディア営業局

東京本社 〒100-8079 東京都千代田区大手町1丁目7番2号

☎ (03) 3231-7111 (大代表)

大阪本社 〒556-8662 大阪市浪速区湊町2丁目1番57号

☎ (06) 6633-1221 (大代表)

<http://www.sankei-ad-info.com>